様式例第１号の１

（記載例）

農地法第３条の規定による許可申請書

農業委員会受付
整理番号

令和〇〇年〇〇月〇〇日

赤磐市農業委員会会長　殿

事務局提出前に担当地区委員の確認をもらって下さい。

農 業 委 員	印

<譲渡人>

氏名　**赤 磐　太 郎**　印

<譲受人>

氏名　**岡 山　一 郎**　印

下記農地 ~~(採草放牧地)~~ について　**所有権**　を　**移 転**　したいので、農地法第３条第１項に規定する許可を申請します。

記

１　申請者の氏名等（国籍等は、所有権を移転する場合に**譲受人**のみ記載してください。）

申請者	氏名	年齢	職業	住所・電話番号	国籍等	在留資格又は特別永住者
譲渡人	**赤磐　太郎**	**70歳**	**農業**	住所　**赤磐市下市３４４番地** ＴＥＬ086－955－1111		
譲受人	**岡山　一郎**	**50歳**	**農業兼会社員**	住所　**赤磐市上市５１番地１** ＴＥＬ086－955－9999	**日本**	

２　許可を受けようとする土地の所在等（土地の登記事項証明書を添付してください。）

土地の所在			地目		面積(㎡)	対価、賃料等の額（円）〔10a当たりの額〕	所有者の氏名又は名称〔現所有者が登記簿と異なる場合〕	所有権以外の使用収益権が設定されている場合	
大字	小字	地番	登記簿	現況				権利の種類、内容	権利者の氏名又は名称
下市	**沖**	**101番**	**田**	**田**	**750**	**〇〇万円**	**赤磐太郎**		

３　権利を設定し、又は移転しようとする契約の内容

売買、贈与、経営移譲、交換、競公売　など

農地法第３条の規定による許可申請書（別添）

Ⅰ　一般申請記載事項

＜農地法第３条第２項第１号関係＞

１－１　権利を取得しようとする者又はその世帯員等が所有権等を有する農地及び採草放牧地の利用の状況

		農地面積（㎡）	田	畑	樹園地	採草放牧地面積（㎡）
所有地	自作地	7,300	5,800	1,500		
	貸付地					

	所在・地番	地目		面積（㎡）	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					

		農地面積（㎡）	田	畑	樹園地	採草放牧地面積（㎡）
所有地以外の土地	借入地	2,300	2,300			
	貸付地					

	所在・地番	地目		面積（㎡）	状況・理由
		登記簿	現況		
非耕作地					

（記載要領）

１、「自作地」、「貸付地」及び「借入地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されているものの面積を記載してください。

　なお、「所有地以外の土地」欄の「貸付地」は、農地法第３条第２項第６号の括弧書きに該当する土地です。

２、「非耕作地」には、現に耕作又は養畜の事業に供されていないものについて、筆ごとに面積等を記載するとともに、その状況・理由として、「～であることから条件不利地である」、「賃借人○○が○年間耕作を放棄している」、「～のため○年間休耕中であるが、草刈り・耕起等の農地としての管理を行っている」等耕作又は養畜の事業に供することができない旨を詳細に記載してください。

1－2　権利を取得しようとする者又はその世帯員等の機械の所有の状況、農作業に従事する者の数等の状況

(1) 作付(予定)作物、作物別の作付面積

	田	畑			樹園地			採草放牧地
作付(予定)作物	水稲	なす	ｶﾎﾞﾁｬ					
権利取得後の面積(㎡)	8,100	800	700					

(2) 大農機具又は家畜

種類／数量	トラクター	ｺﾝﾊﾞｲﾝ（２条刈）	田植え機（４条植）	乾燥機	軽ﾄﾗｯｸ	
確保しているもの 所有	20ps　1	1	1	1	1	
確保しているもの リース						
導入予定のもの 所有						
導入予定のもの リース						
〔資金繰りについて〕						

(記載要領)

1、「大農機具」とは、トラクター、耕うん機、自走式の田植機、コンバイン等です。「家畜」とは、牛、豚、鶏等です。

2、導入予定のものについては、自己資金、金融機関からの借入れ(融資を受けられることが確実なものに限る。)　等資金繰りについても記載してください。

(3) 農作業に従事する者

①　権利を取得しようとする者が個人である場合には、その者の農作業経験等の状況

農作業暦　２０年、農業技術修学暦　　年、その他（　　）

②　世帯員等その他常時雇用している労働力(人)	現在：　１	(農作業経験の状況：　５０年の農作業従事　)
	増員予定：	(農作業経験の状況：　)
③　臨時雇用労働力(年間延人数)	現在：	(農作業経験の状況：　)
	増員予定：	(農作業経験の状況：　)

④　①～③の者の住所地、拠点となる場所等から権利を設定又は移転しようとする土地までの平均距離又は時間　　１ｋｍ

＜農地法第３条第２項第２号関係＞（権利を取得しようとする者が農業生産法人である場合のみ記載してください。）

２　その法人の構成員等の状況（別紙に記載し、添付してください。）

＜農地法第３条第２項第３号関係＞

３　信託契約の内容（ 信託の引受けにより権利が取得される場合のみ記載してください。）

＜農地法第３条第２項第４号関係＞（ 権利を取得しようとする者が個人である場合のみ記載してください。）

４　権利を取得しようとする者又はその世帯員等のその行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業への従事状況

（「世帯員等」とは、住居及び生計を一にする親族並びに当該親族の行う耕作又は養畜の事業に従事するその他の２親等内の親族をいいます。）

(1) その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業へ常時従事している者の氏名

氏　名	**岡山　一郎**	**岡山　花子**
(2) 年　齢	**５０歳**	**７５歳**
(3) 主たる職業	**農業兼会社員**	**農業**
(4) 権利取得者との関係	**本人**	**母**

(5) その者の農作業への従事状況（ 該当する期間(実績又は見込み)を「← →」で示してください。）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
その行う耕作又は養畜の事業に必要な農作業の期間	←	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→
その者が農作業に常時従事する期間	←	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	→

（「農作業に常時従事する期間」とは、その期間、必要な農作業(耕うん、播種、施肥、刈取り等)にいつでも従事できる状態にあることをいいます。）

＜農地法第３条第２項第６号関係＞

５　周辺地域との関係

権利を取得しようとする者又はその世帯員等の権利取得後における耕作又は養畜の事業が、権利を設定し、又は移転しようとする農地又は採草放牧地の周辺の農地又は採草放牧地の農業上の利用に及ぼすことが見込まれる影響を以下に記載してください。**なお、影響がない場合、記載は不要です。**

(例えば、集落営農や経営体への集積等の取組への支障、農薬の使用方法の違いによる耕作又は養畜の事業への支障等がある場合に記入して下さい。)